

# 人権という希望

2015/6月

## 第15回 人権のつどいのお知らせ



日本で初めての義足のプロアスリートとなり、走り高跳びでパラリンピック等の国際大会で活躍されている鈴木徹（すすきとおる）さんをお迎えして、自ら障害を乗り越えて来られた体験談等を通じて、多くの皆様に人権について考えていただく「つどい」を開催します。当日は、中学生の人権作文の発表もあります。ぜひご参加ください。

[伊達]

12月5日(土) 午後1時30分～4時30分

場所：国分寺Lホール(国分寺駅ビル8階)

☆ 第1部 中学生人権作文市長賞受賞者の表彰式と朗読

☆ 第2部 講演会 講師：鈴木 徹さん



### 【講師プロフィール】

1980年 山梨県生まれ

高校時代ハンドボール部に所属し、全国レベルの選手として活躍するも卒業間近に交通事故で右足膝下切断。その後、リハビリの一環として走り高跳びを始めたところ、その競技で日本人初のパラリンピック出場を果たし、シドニー、アテネ、北京、ロンドン大会で4大会連続の入賞を果たしている。

現在、教育機関を中心に講演会活動も精力的に行っている。



鈴木 徹さん

## 第22回 子どもたちからの人権メッセージ発表会のお知らせ



多摩地区の代表児童30人による発表会。国分寺市からは第八小学校6年生、第九小学校5年生の児童が発表します。

誰かのために、優しく、そして、強くなる。未来をあたためる子どもたちからのメッセージです。皆様お誘い合わせのうえ、是非ご来場ください。

日時：平成27年9月12日(土) 午後1時～4時

会場：くにたち市民芸術小ホール(国立市)

[田中]

## 第14回 人権のつどい開催報告

### 「出会いの人生から学んだこと～守られるべき私たちの人権～」



平成26年11月29日(土)国分寺Lホールに、テレビのコメンテーターとしても活躍されている弁護士の菊地幸夫さんをお招きして、人権のつどいを開催しました。

前半は、中学生の人権作文の表彰式と発表を行い、中学生らしい感性豊かな内容に共感の輪が広がっていました。

後半は、テレビでも活躍される菊地幸夫さんが、収録の裏話や、自身が監督をつとめる小学生のバレーボールチームのはなしなど、弁護士としての豊富な経験をまじえたバラエティーにとんだ講演会になりました。 [村原]



## 中学生 人権作文コンテスト



平成26年度中学生人権作文コンテストは、市内の各中学校から841編の応募をいただきました。テーマは「いじめ」「虐待」「高齢者」「障害者」「戦争や平和」「環境問題」「プライバシー」「東日本大震災関連」等々その範囲は多岐に渡るものでした。各作文は、次代を担う中学生が、自分たちの目線で人権を改めて考えている様子の内容で、大きな感動を受けました。国分寺市の人権擁護委員で、東京都大会出品市代表作品や国分寺市長賞作品を選びました。その作品を平成26年11月29日(土)に国分寺Lホールで開催された「人権のつどい」で発表してもらいました。同日に行われた東京都人権擁護委員連合会の作文発表会と重なり、今回は、第三中学校の森田佳那さんに発表していただき、他の作品は録音音声での発表を行いました。

なお、各中学校関係者の皆様と、応募されました中学生の皆様に感謝いたします。ありがとうございました。 [熊谷]

平成26年度市長賞の受賞者は次のとおりです。

第一中学校	1年	藤本 美空	「周りからの冷たいまなざし」
第二中学校	3年	市川 萌	「優劣なんてつけられない」
第二中学校	3年	生沼 空	「私のヒーロ」
第二中学校	3年	木村 彩未	「ハンセン病資料館を訪れて」
第三中学校	2年	森田 佳那	「小さな心遣い」

(学校別五十音順)



## 第21回 子どもたちからの人権メッセージ発表会開催報告



多摩東人権擁護委員協議会第21回子どもたちの人権メッセージ大会は、平成26年9月13日(土)に狛江市の狛江エコルマホールにて開催され、国分寺市立第七小学校の浅見心羽さん(6年生)が「いじめを止めよう」というテーマで発表しました。 [小部]



## 「人権の花」運動 ～育てよう 思いやりの心～



平成 26 年度は、第五小学校の 3 年生と第六小学校の 5 年生が、マリーゴールドとサルビアを育てました。種まきから開花まで、花を育てることを通して、友達と協力しながら友情を育み、また、命の大切さを学んでもらうなど、「人権意識」が育つよう取り組んでいます。

今年度は、第七小学校 3 年生と第八小学校 3 年生のみなさんをお願いしています。

[村原]



〈第五小学校 3 年生〉

### 児童の感想

- 人権の花を植えて、改めて人権について考えてみました。そしてたどりついたことは、人権とは人間が生まれてから死ぬまで持っている「自由」「安全」「勇気」などの人間としての権利ということです。
- 私は、人権の花でみんなが同じ平和な世界になってほしいと思いました。



〈第六小学校 5 年生〉

## 子どもの人権 110 番 SOSミニレター



人権擁護委員が、子どもを対象に行っている相談事業に、電話で相談を受ける「子どもの人権 110 番」と、手紙による「SOSミニレター」があります。

子ども達からの相談は、友達関係のトラブルや勉強のこと、学校生活の悩みや家庭での問題など、様々で、緊急性を要するものも少なくありません。声や文章の奥にある背景にも思いをはせ、辛い気持ちを受けとめられるよう、委員が相談にあたっています。

今年も、全国の小中学校を通じてミニレターが配布されます。一人で悩む子どもの心に寄り添えるように返信にあたりたいと思います。

[村原]

## 人権Q&A



Q：13 歳の中学生の男子生徒が、夜 9 時頃、学習塾からの帰り、自宅まで歩道を自転車に乗って時速 20 km 以上の猛スピードを出して走り、一時停止もせず交差点に進入したところ、右方向から歩いてきた 82 歳の高齢男性と出会い頭に衝突、転倒した男性は症状固定まで 3 ヶ月を要する大腿骨骨折、腰椎骨折などの傷害を負い、その傷害が原因で車椅子の生活を強いられている。被害男性は治療費や後遺症、介護費用等を含め数千万円の損害を被った。誰がその賠償責任を負いますか。

A：民法第 712 条は未成年者が自己の責任を弁識する知能を備えていなかったときは、その行為について賠償の責任を負わない旨規定していますが、判例上は 13 歳程度の場合、責任能力を認めていますので、この中学生が賠償責任を負います。この男子生徒が小学生低学年だった場合で、交通ルール等について判断能力が低い場合は、民法第 714 条により、親が監督義務を尽くしたことを証明しない限り、未成年者の代わりに親が賠償責任を負うことがあります。近年、自転車の事故が増えています。加害者が未成年者という理由で損害賠償義務を免れることはできません。自転車用の損害賠償責任保険に加入するよう心がけてください。

[伊達]

## 新たに人権擁護委員が決まりました



### 岩崎文子委員

初めまして。私は4月1日、国分寺地区の人権擁護委員に選任されました。国分寺に住んで35年あまりですが、子育てに主婦業にと過ごしてまいりました。地域にかかわるということでは、民生委員として4期目にはいりました。暮らしやすい町と皆さんに言われますが、年々、高齢者・生活困窮者の増加が国分寺においても現状です。これから人権問題を勉強し、取り組んでまいりたいと思います。よろしくお願いいたします。



### 田中久美子委員

新しく人権擁護委員に選任されました田中と申します。長きにわたり教育現場に携わってまいりました中で、子どもたちを取り巻く、いじめ・虐待等の子どもの人権、また、保護司として更生保護の立場から、立ち直ろうとする人々、犯罪被害者の人権等に心を痛め、関心を寄せてまいりました。この街が、弱者も強者もなく、皆がお互いを認め合い生活する、心優しい国分寺であってほしいと願っています。そのためのお手伝いが少しでもできたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



## 身近な人権相談のご案内



あなたの人権が侵害されたとき、生活の悩みや不安を抱えているとき、お気軽にご相談ください。人権擁護委員が相談を受けています。

相談は無料、秘密は厳守します。

どなたでもご利用いただけます。  
お気軽にお電話でご予約ください。



### 平成27年度の相談日

原則として毎月第2木曜日  
午後1時～4時（1回30分）

場 所：男女平等推進センター相談室  
（ひかりプラザ内）

予約電話：042-573-4378

受付時間：月～金 9：00～17：00  
（土・日・祝日・年末年始を除く）

7月	9日	12月	10日
8月	13日	1月	14日
9月	10日	2月	4日
10月	8日	3月	10日
11月	12日		



4月1日から相談の名称が、人権身の上相談から「身近な人権相談」に変わりました。

発行：国分寺地区人権擁護委員の会

【人権擁護委員：岩崎文子・熊谷 淳・小部正治・伊達俊二・田中久美子・村原町子】

問い合わせ：国分寺市 市民生活部 文化と人権課

〒185-0034 国分寺市光町1-46-8ひかりプラザ内 電話：042-573-4378